

令和3年8月9日からの大雨に係る林道等の被害状況調査

令和3年8月9日からの記録的な大雨により、青森県むつ市大畑地区及び風間浦村の国道 279 号線では、多数の土砂崩れや小赤川橋が落橋する被害を受け、孤立地域が発生しました。

東北森林管理局では、孤立地域の解消に向け、国道 279 号線の代替路(迂回路)となり得る国有林林道(5路線 45.7 km)について、職員を派遣し、当地域を管轄する下北森林管理署の職員と共に災害調査チーム(3班)を編成して、下記のとおり被害状況調査を実施しました。

記

1. 調査日 令和3年8月 11 日(水)～13 日(金)
2. 調査結果 いこくま さとうがたい 易国間、佐藤ヶ平(一部) にし また 及び西の股林道の被害が小さく、この 3 路線を經由することで、県道むつ恐山公園大畑線へ通じる代替路として使用できるように、林道の応急対策とともに、地域全体の被害状況の把握・調査を実施します。



調査前の打合せ



A 班(佐藤ヶ平林道)



B 班(やげん薬研林道)



C 班(ひるめしぼさわ昼飯場沢林道)